

資料 1

安曇野市子ども・子育て支援事業計画

～ 令和4年度 事業報告 ～

子ども・子育て支援事業計画

1 「幼児期の教育・保育」について <所管課：こども園幼稚園課>

【令和4年度（計画）】

[単位：人]

| 項目 | 保育認定 | 1号 | 2号 | | 3号 | | |
|--------------|------------|--------------|---------------|--------------|------|----|--|
| | 保育の必要性 | なし | あり | | | あり | |
| | 年齢区分 | 3-5歳 教育のみ | 3-5歳 幼稚園利用 | 3-5歳 保育利用 | 1・2歳 | 0歳 | |
| ① 量の見込み | | 569 | 0 | 1,623 | 625 | 87 | |
| ② 確保内容（受入施設） | 確保内容（受入施設） | 569 | 0 | 1,623 | 625 | 87 | |
| | 教育・保育施設※ | 526 | 0 | 1,617 | 499 | 50 | |
| | 認可外保育施設 | 43 | 0 | 3 | 5 | 3 | |
| | 地域型保育事業 | - | - | - | 96 | 28 | |
| | 事業所内保育 | 0 | 0 | 3 | 25 | 6 | |
| ③ 過不足（②-①） | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |

※教育・保育施設（保育所・幼稚園・認定こども園）

【令和4年度（実績）】

[単位：人]

| 項目 | 保育認定 | 1号 | 2号 | | 3号 | | |
|--------------|------------|--------------|---------------|--------------|------|-----|--|
| | 保育の必要性 | なし | あり | | | あり | |
| | 年齢区分 | 3-5歳 教育のみ | 3-5歳 幼稚園利用 | 3-5歳 保育利用 | 1・2歳 | 0歳 | |
| ① 量の見込み | | 479 | 6 | 1,601 | 647 | 158 | |
| ② 確保内容（受入施設） | 確保内容（受入施設） | 479 | 6 | 1,601 | 608 | 120 | |
| | 教育・保育施設※ | 454 | 6 | 1,585 | 478 | 81 | |
| | 認可外保育施設 | 25 | 0 | 16 | 9 | 0 | |
| | 地域型保育事業 | 0 | 0 | 0 | 108 | 32 | |
| | 事業所内保育 | 0 | 0 | 0 | 13 | 7 | |
| ③ 過不足（②-①） | | 0 | 0 | 0 | △39 | △38 | |

※教育・保育施設（保育所・幼稚園・認定こども園）

【実績からの考察及び今後の検討課題】

3歳以上児に係る幼児期の教育・保育ニーズに対する確保内容については、不足なく確保されているものの、3歳未満児に係る保育ニーズは増加傾向にあり、待機児童が発生している。そうした状況から小規模保育事業所を令和5年4月豊科地域南部に開所、令和5年5月穂高地域西部に開所予定で、更に令和6年4月豊科地域に新規設置するため進めている。

2 「地域子ども・子育て支援事業」について

(1) 妊婦健康診査

<所管課：健康推進課>

[単位：人回/年]

| 項目 | 令和4年度 (計画) | 令和4年度 (実績) |
|-------------|---------------|---------------|
| ① 量の見込み | 7,485 | 5,577 |
| ② 確保内容 | 7,485 | 5,577 |
| ③ 過不足 (②-①) | 0 | 0 |

【実績からの考察及び今後の検討課題】

令和4年4月～令和5年2月末までの実績（県外受診含む）

妊娠届出数の減少に伴い実績が減少している。妊娠届を提出したすべての妊婦に対して、妊婦の健康保持および増進を図るために妊婦一般健康診査受診票の交付を実施した。今後も妊婦健康診査の定期受診を勧めていく。

(2) 乳児家庭全戸訪問事業

<所管課：健康推進課>

[単位：人/年間]

| 項目 | 令和4年度 (計画) | 令和4年度 (実績) |
|-------------|---------------|---------------|
| ① 量の見込み | 629 | 491 |
| ② 確保内容 | 629 | 491 |
| ③ 過不足 (②-①) | 0 | 0 |

【実績からの考察及び今後の検討課題】

健康推進課保健師又は在宅助産師・保健師が、出産後、全ての家庭に連絡し、全戸訪問できる体制を整えているが、出生数減少に伴い訪問実績も減少した。訪問を希望しない家庭に対しては来所相談での対応や、電話連絡で状況を確認した。入院や里帰り等により訪問できない場合もあるが、出産後は子育てへの不安が大きくなりやすいため、今後も全ての家庭へ訪問できる体制を継続していく。

(3) 地域子育て支援拠点事業

<所管課：子ども家庭支援課>

[単位：人回/年]

| 項目 | 令和4年度 (計画) | 令和4年度 (実績) |
|-------------|---------------|---------------|
| ① 量の見込み | 19,282 | 11,189 |
| ② 確保内容 | 19,282 | 11,189 |
| ③ 過不足 (②-①) | 0 | 0 |

【実績からの考察及び今後の検討課題】

9か所の児童館において実施した地域子育て支援拠点事業には、合計11,189人が参加。開催回数は735回で1回の平均参加人数は、約15人であった。

昨年より開催回数は増えたものの、まだ新型コロナウイルスの影響などから1回あたりの参加人数は少ない傾向が続く。子育て世代の生活スタイルの変化もあり、ニーズや参加傾向を把握した支援拠点づくりが課題である。

(4) 延長保育事業

<所管課：こども園幼稚園課>

[単位：人/年]

| 項目 | 令和4年度 (計画) | 令和4年度 (実績) |
|-------------|---------------|---------------|
| ① 量の見込み | 1,169 | 1,082 |
| ② 確保内容 | 1,169 | 1,082 |
| ③ 過不足 (②-①) | 0 | 0 |

【実績からの考察及び今後の検討課題】

幼児教育・保育の無償化に伴い、3歳以上児における保育必要量を短時間認定（利用時間8：30-16：30）から標準時間認定（利用時間7：30-18：30）へ変更するケースが増加傾向にあるため、延長保育の利用者は減少している。また、この認定区分の変更により、保育の利用時間が増加し、保育士不足が問題となっている。

(5) 一時預かり及び幼稚園の預かり事業

<所管課：こども園幼稚園課>

① 幼稚園における在園時を対象とした一時預かり（幼稚園型Ⅰ）

[単位：延人／年]

| 項目 | 令和4年度 (計画) | 令和4年度 (実績) |
|-------------|---------------|---------------|
| ① 量の見込み | 154 | 234 |
| ② 確保内容 | 154 | 234 |
| ③ 過不足 (②-①) | 0 | 0 |

② 認定こども園等における一時預かり（幼稚園型Ⅰ・Ⅱ以外）

[単位：延人／年]

| 項目 | 令和4年度 (計画) | 令和4年度 (実績) |
|-------------|---------------|---------------|
| ① 量の見込み | 2,813 | 2,492 |
| ② 確保内容 | 2,813 | 2,492 |
| ③ 過不足 (②-①) | 0 | 0 |

【実績からの考察及び今後の検討課題】

認定こども園における一時預かりは、年間計画の約89%程度となっており、当初計画より減少傾向となっている。これは、コロナ禍で外出自粛等により結果的に一時預かり事業の利用が減少したものと考えられる。しかし、当該事業が待機児童に係る保育の受け皿として、利用者が一定数いることから当該保育に係る保育士の確保が課題となっている。

(6) 病児・病後児保育事業

<所管課：こども園幼稚園課・子ども家庭支援課>

[単位：人日／年]

| 項目 | 令和4年度 (計画) | 令和4年度 (実績) |
|-------------|---------------|---------------|
| ① 量の見込み | 530 | 31 |
| ② 確保内容 | 530 | 8 |
| 病児・病後児対応型 | 493 | 0 |
| ファミサポ | 37 | 8 |
| ③ 過不足 (②-①) | 0 | △23 |

【実績からの考察及び今後の検討課題】

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、事業受託者である安曇野赤十字病院の施設的な状況等から、令和3年12月から現在まで利用休止しているが、令和5年6月の開所に向けて調整を行っている。

(7) ファミリー・サポート・センター事業 <所管課：子ども家庭支援課>

(就学前児童)

[単位：延人／年]

| 項目 | 令和4年度 (計画) | 令和4年度 (実績) |
|-------------|---------------|---------------|
| ① 量の見込み | 903 | 1,550 |
| ② 確保内容 | 903 | 1,250 |
| ③ 過不足 (②-①) | 0 | △300 |

(就学児童)

[単位：延人／年]

| 項目 | 令和4年度 (計画) | 令和4年度 (実績) |
|-------------|---------------|---------------|
| ① 量の見込み | 1,039 | 212 |
| ② 確保内容 | 1,039 | 188 |
| ③ 過不足 (②-①) | 0 | △24 |

【実績からの考察及び今後の検討課題】

昨年度の就学前児童分の確保内容は1,006件あり、今年度は増加となった。就学児童分は、昨年度213件の実績があったため、今年度は減少となった。支援の内容としては、年間を通じて、子どもの習い事等の場合の援助が最も多く、次いで保育施設の登園前や帰宅後の預かりが多いことが傾向として見られた。

なお、利用したい家庭への支援策として、利用額の2分の1（月額1万円が上限）を助成する制度を昨年度に引き続き行ったが、申請件数は23件で、前年度比で2件の微減となった。新規利用開始者もあったため、委託機関とも協力して制度の周知を強化し、利用拡大に繋げていくことが引き続きの課題である。

また、委託機関との定期的な打ち合わせを実施し、実情を踏まえ、依頼会員及び協力会員共により多くの登録者を確保できるような体制の整備に努める。

(8) 放課後児童クラブ事業

<所管課：子ども家庭支援課>

(低学年)

[単位：人/年]

| 項目 | 令和4年度 (計画) | 令和4年度 (実績) |
|-------------|---------------|---------------|
| ① 量の見込み | 483 | 586 |
| 1年生 | 197 | 246 |
| 2年生 | 151 | 205 |
| 3年生 | 135 | 135 |
| ② 確保内容 | 483 | 586 |
| ③ 過不足 (②-①) | 0 | 0 |

(高学年)

[単位：人/年]

| 項目 | 令和4年度 (計画) | 令和4年度 (実績) |
|-------------|---------------|---------------|
| ① 量の見込み | 259 | 178 |
| 4年生 | 89 | 91 |
| 5年生 | 89 | 65 |
| 6年生 | 81 | 22 |
| ② 確保内容 | 89 | 101 |
| ③ 過不足 (②-①) | △170 | △75 |

【実績からの考察及び今後の検討課題】

3月末時点での通年利用者の登録者数は全体で687人であった。

5、6年生は実施クラブ（2クラブ）の数値から全体で実施した場合の見込を算出。高学年の欄の②確保内容は4年生91人と、5年生8人+6年生2人（実績数）の合計。

利用希望が年々増加していることに加え、6年生までの受入を市全体に拡げる課題がある。引き続き受入施設の整備やスタッフの確保などについて関係機関と調整を行い、児童クラブを必要としている人が利用できるようにしていく。

(9) 利用者支援事業

<所管課：健康推進課>

[単位：箇所]

| 項目 | 令和4年度 (計画) | 令和4年度 (実績) |
|-------------|---------------|---------------|
| ① 量の見込み | 1 | 1 |
| ② 確保内容 | 1 | 1 |
| ③ 過不足 (②-①) | 0 | 0 |

【実績からの考察及び今後の検討課題】

妊産婦及び乳幼児の実態を把握し、妊娠・出産・育児に関する各種相談を通じ、支援プランの策定や、地域の関係機関との連絡調整を行った。また、妊産婦及び乳幼児の健康保持及び増進に関する包括的な支援を行い、妊娠期から子育て期にわたり切れ目ない相談支援を実施した。

核家族化等により産後の支援者がいない方も増えており、妊娠・出産・育児に関する各種相談を通じ、妊娠期から子育て期において安心して出産・育児ができるように関係機関との連携を深めながら、切れ目なく相談支援を実施していく。

(10) 養育支援訪問事業

<所管課：子ども家庭支援課>

[単位：人/年]

| 項目 | 令和4年度 (計画) | 令和4年度 (実績) |
|-------------|---------------|---------------|
| ① 量の見込み | 12 | 3 |
| ② 確保内容 | 12 | 3 |
| ③ 過不足 (②-①) | 0 | 0 |

【実績からの考察及び今後の検討課題】

NPO 法人 momo への委託により実施している。家庭児童相談や母子保健相談、乳児家庭全戸訪問事業等において支援の必要性が高い家庭が対象となっている。令和4年度上半期は利用者がいなかったが、下半期は特定妊婦等で継続して支援を行っていた3世帯の利用があった。

(11) 子育て短期支援事業

<所管課：子ども家庭支援課>

[単位：人日／年]

| 項目 | 令和4年度 (計画) | 令和4年度 (実績) |
|-------------|---------------|---------------|
| ① 量の見込み | 113 | 19 |
| ② 確保内容 | 113 | 19 |
| ③ 過不足 (②-①) | 0 | 0 |

【実績からの考察及び今後の検討課題】

松本赤十字乳児院と松本児童園の2施設に委託を行い実施している。新型コロナウイルス感染拡大の影響で委託施設が受け入れを停止していた期間が長く、利用件数が少なくなっている。停止期間中の発生した緊急性の高い事案については児童相談所と連携し対応を行った。申請理由は保護者の育児疲れや育児への負担感・不安感が主なものであった。

(12) 実費徴収に係わる補足給付を行う事業

<所管課：こども園幼稚園課>

[単位：人／年]

| 項目 | 令和4年度 (計画) | 令和4年度 (実績) |
|-------------|---------------|---------------|
| ① 量の見込み | 12 | 11 |
| ② 確保内容 | 12 | 11 |
| ③ 過不足 (②-①) | 0 | 0 |

【実績からの考察及び今後の検討課題】

生活保護世帯に係る実費徴収の補助については、生活支援担当と連携を図り給付を行っている。また、幼児教育・保育の無償化に伴い、未移行の幼稚園を利用する低所得者世帯および多子世帯に対する副食費の費用補助についても補足給付を行っている。

(13) 多様な主体が本制度に加入することを促進するための事業

<所管課：こども園幼稚園課・子ども家庭支援課>

私立認可保育施設に対して、保育専門員等を派遣し必要な支援・相談を行った。

3歳未満児の増加する保育ニーズに対応するため、小規模保育事業所を令和5年4月豊科地域南部に開所、令和5年5月穂高地域西部に開所予定で、更に令和6年4月豊科地域に新規設置するため進めている。